

# だいにぎ議会だより



お揃いのポロシャツで！

平成23年度決算を認定 .....	(2)
平成23年度一般会計歳入歳出決算図表 .....	(3)
審議された議案.....	(4)
一般会計補正予算・決算審査意見書.....	(5)
一般質問（10人が登壇し、町政を問う） .....	(6)～(15)
議会報告会・人事・あとがき.....	(16)

No.  
**171**  
平成24年  
10月12日

# 平成23年度 決算を認定

## 平成24年 第3回定例会

平成23年度の一般会計の予算執行については、依然として自主財源の厳しい財政状況の下での執行となりましたが、行財政改革の推進による歳出の削減に努めながら、災害復旧工事、災害見舞金の支給、大子町プレミアム商品券発行事業補助、政策懇話会の設置、地域人材育成事業、森林機能緊急回復整備事業、汚泥脱水設備整備事業、高齢者等生き生き外出助成事業、「食」の自立支援事業、医療福祉費扶助、障害者自立支援事業、難病患者福祉見舞金の支給、学力向上推進事業の充実のほか、交通通信系の整備、産業の振興、福祉対策事業、教育の振興、生活環境の整備、消防施設の整備等に係る各種事業の推進に努めました。

### 平成23年度の執行状況

平成24年度第3回定例会が9月5日から14日までの10日間の会期で開かれました。

平成23年度一般会計及び特別会計等の歳入歳出の認定、平成24年度一般会計及び特別会計等補正予算、条例の改正、人事案件などの議案を審議し原案どおり可決しました。

一般質問では、新人議員3名を含む10人が登壇し、町政に対しての質問、答弁が展開されました。



### 《平成23年度 特別・水道事業会計決算》

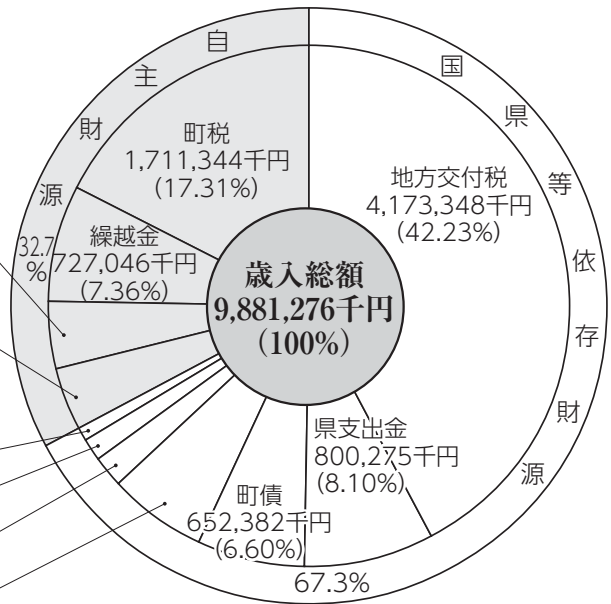
会 計 別		歳入決算額	歳出決算額
特別 会 計	国民健康保険事業	27億9,906万 490円	27億6,428万9,349円
	後期高齢者医療	2億2,444万5,821円	2億1,450万7,672円
	介護保険	19億5,984万9,438円	19億 739万9,392円
	介護サービス事業	1,266万4,480円	1,047万9,899円
	浄化槽整備事業	9,949万7,972円	9,425万3,587円
	下水道事業	190万6,483円	158万9,220円
水道事業会計	収益的収支	4億7,781万3,958円	4億3,351万5,801円
	資本的収支	3,750万9,400円	2億3,491万5,155円

※資本的収入が資本的支出に対し不足する額1億9,740万5,755円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額518万4,095円、過年度分損益勘定保留資金1億9,222万1,660円で補てんした。

# 平成23年度 一般会計歳入歳出決算図表

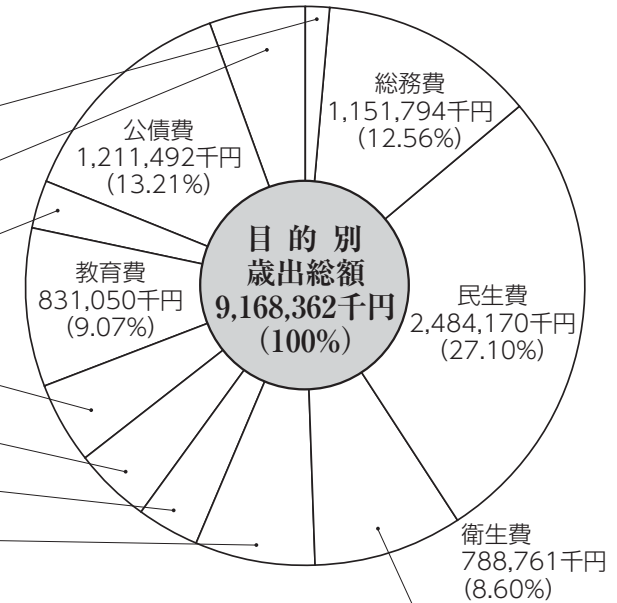
## 歳入

使用料及び手数料	395,197千円(4.00%)
分担金及び負担金	38,038千円(0.38%)
諸収入	230,420千円(2.33%)
財産収入	53,948千円(0.55%)
寄付金	58,886千円(0.60%)
繰入金	17,250千円(0.17%)
自動車取得税交付金	26,499千円(0.27%)
利子割交付金	3,576千円(0.04%)
配当割交付金	2,493千円(0.03%)
株式等譲渡所得割交付金	901千円(0.01%)
地方特例交付金	27,278千円(0.28%)
ゴルフ場利用税交付金	14,097千円(0.14%)
交通安全対策特別交付金	2,613千円(0.03%)
地方譲与税	140,564千円(1.42%)
地方消費税交付金	180,122千円(1.82%)
国庫支出金	624,992千円(6.33%)



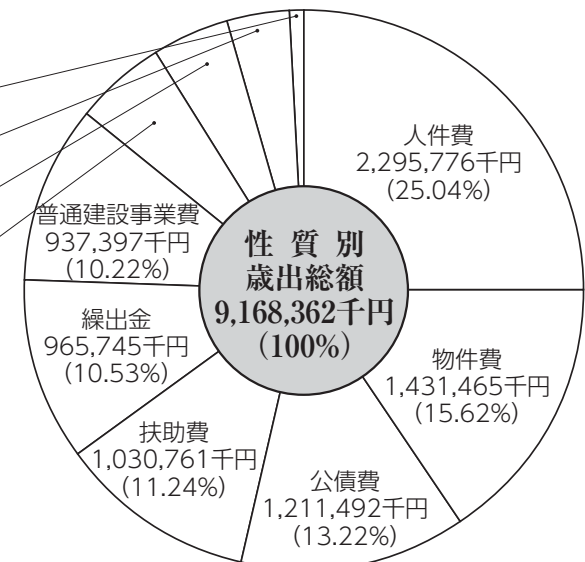
## 目的別歳出

議会費	131,808千円(1.44%)
諸支出金	495,018千円(5.40%)
災害復旧費	275,340千円(3.00%)
消防費	423,938千円(4.62%)
土木費	423,572千円(4.62%)
商工費	318,000千円(3.47%)
農林水産業費	633,419千円(6.91%)



## 性質別歳出

維持補修費	61,406千円(0.67%)
投資及び出資金、貸付金	11,245千円(0.12%)
災害復旧費	322,762千円(3.52%)
補助費等	405,298千円(4.42%)
積立金	495,015千円(5.40%)





## 第3回定例会 提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
町長報告 第2号	継続費の精算報告について	報告済
議案第46号	平成24年度大子町一般会計補正予算（第3号）の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第47号	大子町防災会議条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第48号	大子町災害対策本部条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第49号	大子町営駐車場設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第50号	茨城県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議について	原案可決
議案第51号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案適任
議案第52号	大子町公平委員会委員の選任について	原案同意
議案第53号	平成24年度大子町一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第54号	平成24年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第55号	平成24年度大子町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第56号	平成24年度大子町介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第57号	平成24年度大子町介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第58号	平成24年度大子町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第59号	平成24年度大子町水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第60号	平成23年度大子町一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第61号	平成23年度大子町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第62号	平成23年度大子町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第63号	平成23年度大子町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第64号	平成23年度大子町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第65号	平成23年度大子町浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第66号	平成23年度大子町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第67号	平成23年度大子町水道事業会計決算の認定について	原案認定
常任委員会 審査報告 第1号	教育予算の拡充を求める請願（請願第1号）	原案可決
議員提出 議案第1号	教育予算の拡充を求める意見書	原案可決
請願第2号	「東海第2原発を再稼働しないことを求める意見書」採択に関する請願	継続審査

## 第2回臨時会 提出議案等と審議結果

◆開催日：7月23日

議案番号	議 案 名	結 果
議案第43号	大子町立小、中学校及び幼稚園設置条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第44号	土地の売払いについて	原案可決
議案第45号	平成24年度大子町一般会計補正予算（第2号）	原案可決

# 平成24年度一般会計補正予算

## 3億2856万3千円の増額

平成24年度大子町一般会計補正予算(第4号)の主なものは別表のとおりです。補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ87億4574万8千円となります。

また、国民健康保険事業特別会計643万6千円の減、後期高齢者医療特別会計81万9千円増、介護保険特別会計2696万円増、介護サービス事業特別会計

218万4千円増、浄化槽整備事業特別会計242万7千円減、水道事業会計は組替えによる補正がありました。

### 臨時会での補正予算は

平成24年7月23日開催の第2回臨時会において、一般会計補正予算がありました。

補正額は1168万円の増額で、歳出は林業施設、道路橋りょう、河川の各災害復旧費によるものであり、歳入は地方交付税及び町債となっています。

## 一般会計補正予算の主なもの

歳入	補正額
地方交付税	9,234万8千円
繰入金	4,596万8千円
繰越金	5,890万円
町債	1億3,300万円

歳出	補正額
コミュニティFM開設事業費	1億4,607万8千円
財政調整基金元金積立金	5,300万円
庁舎空調機器更新工事費	2,854万3千円
観光SLシャトルバス購入費	1,215万4千円
辺地共聴施設整備事業補助金	1,143万3千円
道路維持補修工事費	950万6千円



## 決算審査意見書

監査委員 鈴木俊郎  
監査委員 大森勝夫

### 歳入歳出決算及び

### 基金の運用状況

一般会計歳入歳出決算及び特別会計の決算並びに基金の運用状況等を審査した結果、経理はすべて相違なく、適正と認める。

- ①引き続き厳しい財政事情に変わりはないので、今後とも長期的な計画の下に健全な財政運営に向けて努力されたい。
- ②町債については、抑制の方向で起債計画を立てるとともに、その運用に当たっては慎重を期されたい。
- ③計画的な事務事業の見直しにより行財政改革を推進し、健全な財政運営を図るよう努められたい。

### 水道事業会計決算

計数的に正確であり、公共の福祉の増進に寄与されていると認められる。また、常に経費削減に努めての運営であり、経営努力が認められる。

- ①独立採算の原則に立ち、合理的な運営の下、コストの低減化に努力されたい。
- ②引き続き漏水対策等に努力されたい。
- ③各施設や配水管の老朽化については、長期的な計画により対処されたい。

# 大子町にも防災士の養成を

## 答 十分に協議し進めていく



菊池靖一 議員

ターとなる防災士を養成する必要があるのでは。

答 町長

大変すばらしい提案かと思うので防災士に関する研修会等、内部でも十分に協議をして進めていく。

問 学校教育においても、消防団組織や自主防災組織

問 総合防災訓練を振り返り、今後自主防災組織の重要性を考えると、9地区単位での防災訓練を行い、各地区に合った防災計画を立てることが重要ではないか。

答 町長

行政にも限度があるので自助、共助という点からも協力を得て進めたい。

答 総務課長

自主防災組織については地域の実情に照らし、その地域にあった組織を構成していただくように支援・協力をしていきたい。

問 自主防災組織がしっかりと機能するには防災のリー



# 水郡線の車窓から

## 見る景観整備を

問 大子町の魅力は自然の豊かさであるが、特に水郡線は久慈川に沿って溪谷美豊かな風景の中を走る。しかし現在は竹や立木がうつそうと茂り、すばらしい景色が台無しである。川沿いを整備しその魅力を最大限に生かしてはどうか。

答 町長

久慈川は大子町が他に誇れる大切な資源であり、鮎が遡上する全国でも有数の川で、また、シガが流れる貴重な川でもあるので、今後久慈川の豊かな資源を守りながら、袋田の滝に次ぐ大子町の地域資源の象徴として活用していくために、対応をしていきたい。



▲水郡線の車窓から (西金地内)

# 多くの町民が参加できる町づくりを

問 町長は、町民が政治に参加する町民発想を基本理念に掲げ、今年度は町民発想地域づくり助成事業として予算を計上された。町の将来像を共有し多くの町民がアイデアを出せるシステムをつくることで、町づくりの意識を高め、参加できる喜びや楽しみを町民自ら感じることが最も大切だと思うがどうか。

答 町長

町民が町政に参画できるものとして町民発想の町づくり助成事業、政策懇話会を提起し実施しているところだが、さらに広く町民が参加できるシステムをつくることについては、内部での検討をさらに進めたい。

# その他の質問

- 国道の除草について
- 教育関係について



# 新規重点施策は早期に実施を

## 答 一日でも早い事業開始を進める



藤田 稔 議員

# いっぱんしつもん

**問** 予約制により自宅から利用できる「乗合タクシー運行事業」の進捗状況は。

**答 町長** 年度内に地域公共交通会議で運行合意を得た上で、委託する事業者を決定し、次年度の早い時期に運行開始ができればと考えている。

**問** 当初の予定より遅れている理由は何か。

**答 企画観光課長** 地域公共交通会議（町内事業者、県、警察署長等）を設置し、何度も開催しなければならぬ等、簡単にできないことが判明した。

**問** 町長は、重点施策の一

つとして、この現状をどう考えているか。

**答 町長**

町民の方々にお詫びするともにも一日でも早い事業の開始を進めていきたい。

**問** 一人暮らしの高齢者等の安否を確認する「安心コール事業」の現状は。

**答 福祉課長**

8月から開始し、860名に通知をした。申請者は103名で社会福祉協議会のなかよし会に委託をした。

**問** 高齢者のみ世帯等を火災から守る「火災警報器配置事業」の対象者は何世帯で、申請者は何世帯あるのか。

**答 町長**

65歳以上で非課税世帯未設置世帯を対象としている。6件の申請がありシルバー人材センターに委託をした。

**問** 子育て世帯の住宅建築を支援する「子育て世帯住

宅建設等助成事業」の申請状況は。新築、増築での制約はあるのか。また、現在休止している子育て支援住宅についての考えは。

**答 町長**

5件の申請があった。制約として、児童の年齢、床面積、年度内完成、納税等がある。池田住宅の建て替えを考えており、高齢者、子育て世帯、独居老人の方々が混在して住める住宅建設を目指す。

**問** 大子町総合防災訓練においての課題は。早急に対応が必要な事はあったのか。

**答 町長** 担当課で検証しているところで、まとまり次第報告する。

**問** フリークライミング施設整備の進捗状況は。また、町民を対象とした講習会の実施や安全対策についての考えはどうか。

**答 町長**

公募型のプロポーザル方式で選定をし、10月末までの工期で、やみぞ体育館内に整備する。茨城県山岳連盟の指導をいただく。

**問** (仮) 大子ふるさと広

援団事業の現状は。

**答 町長**

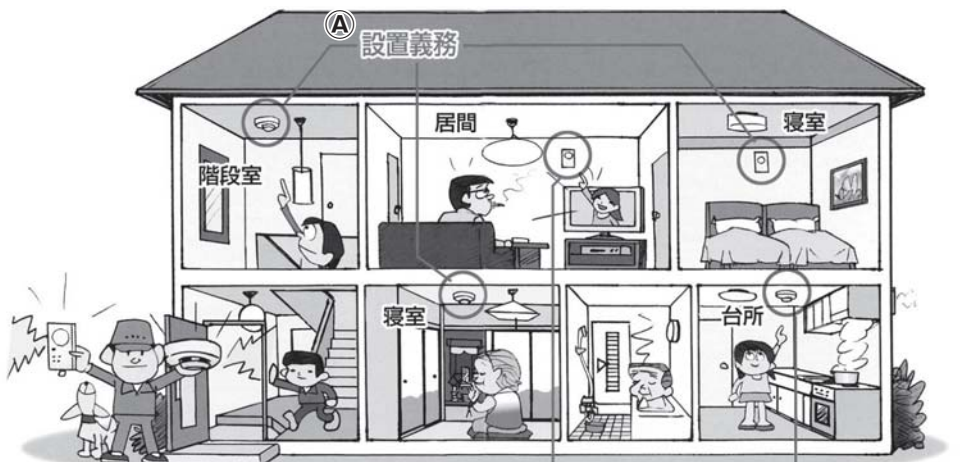
10月頃から募集し、登録者には名刺やオリジナルグッズを配付し、町のPRを行っていただく。

**問** 現在の観光シャトルバスの運行状況と新たに秋に

運行するSLバス（SL風に架装、約1200万円）の誘客効果は。

**答 町長**

利用者数は、5か月間で797人であった。誘客効果の想定は難しいがPRはして行く。



(B) (市町村条例により設置が必要になる場合がありますが、ない場合でも設置が望ましい。)

**A** 取り付けが義務付けられている所  
寝室、階段室

**B** 取り付けをおすすめしている所  
台所、すべての居室(\*)

【注意事項】.....  
○取り付け位置は天井又は壁に取り付けます。  
○1階以外に居室のある場合は階段にも取り付けする必要があります。

(\*) 管轄の消防機関に問い合わせ下さい。

### ▲住宅用火災警報器設置箇所

一般質問の内容は、質問者自ら要約執筆し、掲載しています。

# 再可エネを企業誘致の発想で

## 答 町との適合等を精査していく



大森勝夫 議員

**問** 現在の経済情勢では企業誘致は難しい。しかし、再生可能エネルギー分野へは、国の支援が重視されてきている。民間企業の新たな産業に成長する可能性が高く、今後の企業誘致に期待が持てる分野ともいえる。そこで、他の自治体に遅れを取ることなく、再生可能エネルギー企業の進出にむけて、町は取り組むべきではないか。

**答 町長** 今後、そういった企業を調査し、受け皿として町が可能かどうか精査を進め、再生可能エネルギー分野の

企業誘致ができるよう検討していきたい。

**問** 民間企業が工場にメガソーラーを設置するなど、意識が高まってきている。水利権や農地法などの規制緩和によって、企業の進出が促進されるよう、エネルギー特区の制定などを考えるべきではないのか。

**答 町長** (特区について) 前向きに取り組んで行きたいと考えている。

## 助成金活用で

## 発電型ごみ焼却場の検討を

**問** 公共のごみ焼却場に発電施設を設ける場合、国が助成金を出す方針とのニュース報道があった。町のごみ焼却場も建替えが決まっている。町で発電施設を持つことは、大きな強みになる。この助成金を使い、発電施設を備えたごみ焼却



▲山梨県都留市の小水力発電

場を考えられないか。

**答 町長** 今の焼却場は老朽化が激しく、1年でも早く完成しなければならぬ。今後制定される助成金を待つては、焼却場の完成が先送りとなってしまふ。

**問** 発電施設に変更し完成

が遅れる対策として、近隣のごみ焼却施設へ有料で委託するなどして、発電施設併用のごみ焼却場を考えるとすべきではないか。

**答 町長** 町で進めている廃棄物処理施設は、循環型社会形成推進交付金を活用し整備する計画となっている。基本計画から生活環境影響調査まで多くの時間をかけてきており、変更は厳しいとい

える。

## 原発の緊急防護措置準備区域になることは

**問** 大子町も原発施設から30キロ圏内の緊急防護措置を準備する区域(UPZ)に指定された。助成措置などの内容は。

**答 町長** 国、県との緊急連絡網の整備や、放射線量測定器のサーベイメーター、防護服、マスク、安定ヨウ素剤や広報車など約2800万円程度の資機材が整備される。

**問** 町で整備予定のFMコミュニティによる防災無線の費用も、UPZ指定により、助成の対象に申請できないか。

**答 町長** 放送設備は総務省の情報通信基盤整備事業の活用を検討している。



# 歴史資料展示館を設置する考えは

## 答町の活性化と合わせて進めていく



中郡一彦 議員

**問** 大子町には伝統産業などに使用された古い農具や民具など歴史的財産ともいえる貴重なものが見受けられる。これらのものを収集保存する考えは。

**答 町長**

古くから使われてきた農機具や古民具などの民俗資料について、農家や関係者への聞き取り調査を行いながら収集を進める。

**問** 町内の遺跡調査などで出土した土器や考古遺物など、大子町の古代の歴史を知るうえで大変貴重なものがあるが、どのようなものが出土したのか。また、

数量は。

**答 町長**

町内の遺跡調査などでの出土品は素焼きの土器、瓶、香炉、直刀、かま、小刀、鉄器など総数で755点。これらの出土品は整理して目録を作成した。

**問** 大子町の歴史を知ろうとしても貴重な農具や民具遺跡の出土品等、化石類や鉱物、更には歴史に残るような人物や事件、文化財等も含め、大子町の歴史や文化が一目でわかるような資料展示施設の設置を考えてはどうか。

**答 町長**

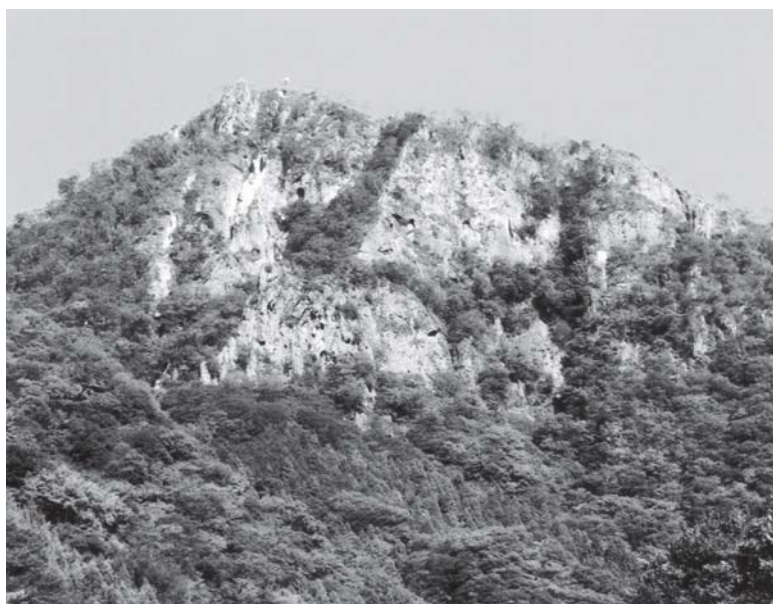
これらの歴史的民俗資料を有効活用するために、更に有形文化財、無形文化財も含め、観光資源、地域文化の活性化と合わせて進めたい。なお、廃校になった学校等の利活用も視野に入れて進めたい。

# 男体山周辺の道路などの環境整備を

**問** 近年男体山を訪れる登山客が大幅に増えている。地元の人たちが道路などの環境整備を行っているが、戸数の減少や高齢化が進み継続が困難な状況にある。観光道路という観点から町としての支援策はないか。

**答 町長**

基本的に観光道路、生活道路等の区別はない。観光施設整備や観光事業の発展を目的に地区内で西金保勝会が活動している。地区内の道路の環境整備にも取り組んでいただければ、町としても支援できるものと考えている。



▲登山者が増えている男体山

# 各学校のインターネットの整備を

**問** 現代社会ではインターネットによる様々な知識や情報を得ることが日常となっているが、大子町の各学校の整備状況は。また、今後の整備計画はあるか。

**答 教育長**

各学校のコンピューター室では、児童生徒はインターネットによる授業が行える状況であるが、職員室には1台しか接続されていないため教職員は自由に使用できず、情報伝達や資料の共有に課題がある。また、光ファイバー回線への切替も順次行っていくなど、これらの整備を早急に着手したい。

# その他の質問

- 筑波大学との連携事業について
- 町営住宅の建設について

# いじめ等への対策案は

## 答 貴重な提言を早急に取り入れたい



岡田敏克 議員

**問** いじめ等が原因による自殺が大きな社会問題となっている。私はいじめの定義として犯罪とと思っているがどうか。

**答 教育長**

心理的、物理的な攻撃を受けたことで精神的な苦痛を受けたと感じたものをいじめと認識している。教育委員会は被害者を何としても守り抜かなければならない。早期発見、対応に努めている。

**問** 1学期に9件のいじめが判明。原因はからかわれたなどだが、どう対応し、解決したのか。

**答 教育長**

担任、保護者等の協力で一応解決したが、油断せず対応していきたい。

**問** 教育委員会は電話やFAXで対応したとあるが、なぜ直接学校に足を運んだのか。教育委員会として

青少年育成町民会議、人権擁護委員、民児委員等と連携して対応すべきでは。また、議会に文教厚生委員会もあり、相談すべきでは。

**いじめ9件のほか、私の**

調べたところでは不登校が5件あることもわかった。不登校も、いじめと同様に重要である。児童生徒が学校にいる間は学校に責任があり、教えること、指導することが大事。児童生徒は、友達がいるから、学びたいから学校に行くのであり、不登校になったとすれば、児童生徒の動きをよく見て、救ってやるのが教育の

プロであり、先生である。今後発生した場合、どう対処するのか。

**答 教育長**

観察、アンケート、保護者からの聞き取り等、兆候があれば学校が総力を挙げて全容を解明し、被害者の安全を守る措置を講じるのが大切であり、情報を共有していきたい。

**問** 対策案として①牛久市

某中学校のグループ制の導入、②定期的アンケート調査、③教育委員会の各学校訪問調査、④加害者に登校停止（支援センターでの補習）、⑤いじめ防止条例制定、⑥第三者委員会設置などがあるが。

**答 教育長**

取り入れられるものは早急に取り入れ、牛久市の件についても調べたい。



## 介護予防事業における健康予防策は

**問** 介護を受けるのは、病気よりも体が徐々に弱くなることによるものが多いので、足腰を常に鍛えることが重要である。予防策として健康遊具の背伸ばしベン

**答 町長**

チや足腰遊具の設置をすべきでは。設置箇所等の問題もあるので、資料等を参考にしながら進めていきたい。



▲健康遊具の一例

## その他の質問

○義援金について

○公用車の車検について

○大子福祉作業所の定員と場所の見直しについて



## 放射線対策・対応者の育成を

### 答県対策課等の専門家を活用



櫻岡義信 議員

**問** 現在、町では各種測定器により農作物、食材等の放射線測定や空間線量を測定しているが、今後を考えると、町として放射線に関する基礎知識やリスク管理能力を有する人材を育成する必要があると思うが。

**答** 研修先として、日本原子力開発機構の原子力人材育成センターがある。

**答 町長**

町としては、町民の不安緩和のため、測定を継続し、必要に応じて県原子力対策課や県原子力協議会のアドバイザー派遣事業を通じ、専門家の意見を求めていき

たい。

原子力人材育成センター活用については、今後の状況を見守り検討する。

**問** 本町が東海第2原発のUPZ（緊急防護措置区域）の範囲にあり、福島第1原発のような過酷事故発生時に、速やかな安定ヨウ素剤の提供が不可欠と考えるがどうか。

**答 町長**

UPZ圏内ということで、県より安定ヨウ素剤をはじめ各種資材購入の補助を受けられる。原発事故発生時、安定ヨウ素剤の速やかな配布は当然のことだが、保管方法は未定。今後、場所の選定等、慎重に検討していく。



## イノシシ捕獲隊の高齢化への対策は

**問** イノシシによる農作物被害が顕著だが、捕獲隊も

高齢化しており、今後の後継者育成をどう考えている

か。

**答 町長**

イノシシ等の有害鳥獣被害拡大と捕獲者の高齢化は本町のみならず全国的な課題である。県猟友会大子支部における会員数は、昭和50年代に500名程度在籍していたが、現在は72名まで減少。駆除体制の維持に向け、他市町村の対策も踏まえ有害鳥獣捕獲隊員の猟銃免許の更新費用等の助成や効果的な対策方法を検討していく。

**問** 平成22年に町より捕獲隊に箱罾が贈呈されたが、省力化の観点から今後も箱罾提供の予定はあるか。

**答 町長**

平成23年度に有害鳥獣捕獲隊員への罾の講習会を開催し、罾によるイノシシ駆除を推進中。今後も有害鳥獣捕獲隊員や関係者の意見を伺いながら、箱罾の助成等を検討していく。

## その他の質問

○地域資源活用事業へのPRについて



▲イノシシ駆除用「箱罾」



# 町の財政運営は健全と言えるのか

## 答 早期健全化基準を下回り健全



鈴木陸郎 議員

問 本町の財政は健全であるとの監査報告だが、ゆとりがないのはなぜか。

答 町長

算定が開始された平成20年度で実質公債費比率15.2%、将来負担比率126.9%、23年度には実質公債費比率10.8%、将来負担比率66.7%となっている。改善の要因は、借入金の償還がピークを越えたこと、借入の抑制に伴い返済額が減少したこと。経常収支比率（人件費、医療給付費、障害福祉サービス給付費等の扶助費、借入金の返済である公債費、

問 決算額で約5億3千万円の赤字であるため、積極財政により町民の要望する事業を実施しては。

答 町長

要望等に対して優先順位をつけ、長期的、継続的に進める考えである。

問 ゆとりある財政にするため、更なる行財政改革が必要と思うが。

答 町長

平成22年度策定した第4次行政改革大綱に沿って推進している。

問 職員の定数及び現業部門の民営化についての考えは。

答 町長

職員の定数については難しい問題である。現業の民営化は現段階では考えていない。

## 耕作放棄地対策と

## 農業の振興は

問 町長の重点政策の中で耕作放棄地対策があるが、具体的な対策は。

答 町長

21年度から今年度までに

あれば行政も進めやすく、将来集落営農に結びつくのではないか。

答 町長

団体の協力を得て新年度に予算化を考えている。



▲耕作放棄地の再生へ

## 公共事業と町との関係は

問 国道118号線袋田バイパス工事は着工後約20年近く経過しているが、完成の見通しは。

答 町長

県、4団体連絡会議等、県議会、土木委員に早期完成を要望している。

問 グリーンライン水根持

方線と県道八溝公園線について。

答 町長

グリーンラインは森林土木課によって進められている。八溝公園線については崩壊箇所復旧事業は継続している。さらに県へ要望する。

# 黒沢中学校跡地利用の考えは

## 答 地元の見解を十分検討



金澤眞人 議員

問 閉校後の形態は。

答 町長

町の普通財産として管理し、今後の活用は町の提案と地元の見解を十分聞き対応する。

問 地域の活力低下を防ぐ対策は。

答 町長

利用計画は未定だが、地域振興の拠点あるいは交流の場として様々な活用が考えられる。

問 校舎の利用にあたり耐震化の必要性は。

答 町長

耐震審査は必要ないが、改修などの場合は調査が必



▲黒沢中学校最後の体育祭

要かと思う。

問 緊急ヘリの離着陸場所としての更なる整備は。

答 町長

今すぐ整備の考えは無いが今後の利活用と合わせて考える。

## 地域資源の掘り起こしを

問 町の活性化のために地域資源の掘り起こしをしてはどうか。

答 町長

地域住民が資源を掘り起こし、町の活性化につなげることが大切と思う。

問 ジオパークに対する町の考えは。

答 町長

町が持っている地質的な特徴なども観光情報として積極的に活用する。

問 都市農村交流などへの更なる積極的な対応を。

答 町長

様々な取り組みをしているが、今後とも都市交流事業には積極的に取り組む。

問 地域おこし協力隊の活

用に対し町の考えは。  
答 町長  
必要性など他町村の事例など調査し考える。

## 将来の町の農業の姿をどう考えているか

問 農地の集積状況は。

答 町長

昨年度9件で9ヘクタールあり、申請は増えている。増加が懸念される遊休農地への対策は。

答 町長

難しい状況であるが、様々な制度や交付金事業を活用し対応する。

問 町の農業の将来像をどのように考えるか。

答 町長

厳しい状況だが、人・農地プランによる担い手の育成と農地の集積や、主要農産物の6次産業化などを考える。

## その他の質問

○自然エネルギーについて

# 総合防災訓練で何を学んだのか

## 【答】今後とも課題の解消に努力する



野内健一 議員

**問** 大子町総合防災訓練が、8月19日に初めて実施されたが、町長としての評価は。

**答 町長** 大規模地震災害を想定した訓練であったが、所期の目的は達成した。しかし、今回の訓練で様々な課題も見出せたので、関係機関と協力してその解消に努めていきたい。

**問** 今回実施した防災訓練は、総合防災計画の立案と更なる改善を目的としたと思われるが、今後も継続的に実施する予定か。

**答 町長**

## 本庁舎や学校等の非構造部材の耐震化は

**問** 町立学校等の非構造部材の耐震化計画は。

**答 教育長**

大子町の小・中学校における点検は、全校で実施され、天井、照明器具、壁や窓等の異常箇所、すべてに対策を講じた。

**問** 本庁舎の非構造部材の

耐震化計画は。

**答 町長**

東日本大震災発生時は本庁舎においても多くの窓ガラスが割れ、階段等の壁が崩れるなどの被害が見られ、その改修に追われた。

現在のところ本庁舎における非構造部材の耐震化計画は出来ていないので、調査・検討していきたい。

## 自治体間の連携協定と災害応援協定とは

**問** 大洗町との地域間連携の協定書に、人的交流、防災・災害対策、観光・産業の振興、文化・教育・芸術の交流等についての連携事業を実施するとなっているが、具体的な予定は。

**答 町長**

今回の奥久慈大子まつりに、あんこう汁の無料配布を予定している。また、大洗の特産品の販売も行う。

**問** 本町でも大洗町の大洗あんこう祭りに、YOSAKOIの舞の披露、本町の特産品の販売を行う予定。それ以外の連携について

は、双方で検討中。

**問** 災害対策応援協力についての対応は。

**答 町長**

備蓄品の食料や資機材等の救援物資の提供を予定。人的には、対応できる人材の派遣を行いたい。

**問** 今後、他の自治体との協定締結は。

**答 町長**

今後の流れの中で、そのような自治体があれば検討したい。



▲役場本庁舎煙突補強工事

来年度以降も引き続き訓練を実施していきたい。

**問** 大子町の限定された地域での訓練ではなく、全域で実施できないか。

**答 町長**

各地区の自主防災組織を中心として、実現できるよう努めていく。



# 介護保険の現状と課題は

## 答 予防対策の充実、発展が重要



佐藤正弘 議員

**問** 今年度、介護保険料が平均の基準で月額30500円、年額で3万6600円から月額で4450円、年額で5万3400円と平均で45・9%と大幅に引き上げられた。その要因はなにか。

**答 町長** 介護認定者の増加による給付費の上昇、施設利用希望者の要望に応えるためのグループホーム、特別養護老人ホームの新增設、介護報酬の改定等が要因となっている。

**問** 大子町の町民所得は、県下で一番低い。一番高い

つくば市と比べると年間150万円の差がある。高齢化が進む中で町民負担を減らすためにどの様な取り組みをしているのか。

**答 町長** 所得の差によって軽減措置を実施し、8段階に分けて町独自の金額で進めている。

**問** 町民負担の軽減のためには、特定健診の受診率の向上、早期発見、予防のための施策、介護を必要としない体制なり、環境づくりに力を入れていく必要があるのではないか。

**答 町長** 全く同感である。町民負担を減らすためには、予防対策の充実、発展させることが大変重要と考えている。特定健診の受診率を少しでも上げるよう啓発に努めていきたい。

# 防災体制の強化の手段は

**問** 自主防災組織を確立するために、どのような指導援助を行っているのか。また、情報の伝達手段として各家庭に配布するFMラジオだけでは不十分であると思うが。

**答 総務課長** 資料の配布と説明会を実施している。地域の中で自主防災組織がスムーズに

きるよう支援をしていく。また、地域の要望に沿うような形で積極的な支援を行っている。

**答 町長** FMラジオは、各世帯及び事業所に放送局からの信号により強制起動できる機能を有しており、防災行政無線と同等な防災情報の発信手段になると思う。

# 原発事故の放射能対策は

**問** 空間線量の測定同様、森林や農地の土壌の検査を行うべきではないか。

**答 総務課長** 森林や土壌の町独自の検査は、今後、検討させていただきたい。

**問** 福島県内や各自治体で子どもたちの内部被曝検査が行われている。大子町でも不安を抱える母親たちから健康診断を望む声が寄せられている。大子町でも実施すべきだと思うが。

**答 町長** 茨城県が必要ないと判断している。ホールボディカウンターを用いた内部被曝検査や甲状腺超音波検査について、県が国に対して必要性及び統一な基準や方針を示すよう要望しているので、現時点では町独自の健康調査の実施は考えていない。



▲新潟県長岡市の緊急告知FMラジオ

# 議会報告会

初めての「議会報告会」を8月28日（火）に佐原ふれあいセンターと袋田コミュニケーションセンターの2会場で開催しました。

この報告会は、町民に開かれた議会づくりを目指す議会改革の一環として開かれたもので、町民の意見や要望を議会活動や町政に反映させるためのものです。各会場とも20名前後の方が参加され、議会報告のあと質疑応答が行われました。今後も各地区での開催を予定していますので御参加ください。



## 人権擁護委員に 菊池正充氏



人権擁護委員の神長守氏が平成24年12月31日で任期満了により退任するため、後任として菊池正充氏（上岡）を法務大臣に推薦することにしました。  
任期は3年です。

## 公平委員に 高瀬一郎氏



大子町公平委員会委員の長山勤氏が平成24年11月30日で任期満了により退任するため、後任として高瀬一郎氏（左貫）を選任することに同意しました。  
任期は4年です。

## あなたから出された請願は

請願名	請願者	付託委員会	結果
教育予算の拡充を求める請願	水戸市笠原町978-46 茨城県教職員組合 執行委員長 高野富二男ほか137名	文教厚生委員会	採 択
「東海第2原発を再稼働しないことを求める意見書」採択に関する請願	大子町大字池田2364-5 大子女性のつどい実行委員長 新日本婦人の会大子班代表 益子絹枝	総務委員会	継続審査

※採択された請願は、地方自治法第99条の規定により国会及び関係省庁に意見書を提出しました。

議会を傍聴  
しましょう

議会傍聴は町政を知る良い機会です。お気軽にお出かけください。

### 12月定例会開催予定

▽5日（水）開 会  
▽6日（木）～9日（日）  
自宅審議

▽10日（月）一般質問  
▽11日（火）一般質問

▽12日（水）一般質問  
▽13日（木）逐条審議

▽14日（金）逐条審議  
閉 会

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。  
(☎72-11115)

### 今回の表紙

定例会開会日に、町の観光PRのために作られたオリジナルポロシャツを着て会議に臨みました。中央は、ポロシャツにもプリントされている袋田の滝キャラクター「たき丸」くんです。  
(大子町議会議場にて)

あしがき

今年度新体制の議会となつて早くも6月と9月の2回の定例会議が終了しました。また8月28日には議会改革の一環として初めての議会報告会が袋田地区と佐原地区で行われました。今後も他の地区でも同じように報告会を行い、町民の皆さんと知恵を出し合い協力し合つて大子町を取り巻く荒波を乗り切つていきたいと思ひます。  
去る10月3日には特別養護老人ホーム「あいおんの丘」の地鎮祭が行われました。竣工により70数名の雇用創出と共に町の活性化、高齢者福祉の向上に寄与されることを願ひます。  
(金澤真人)